

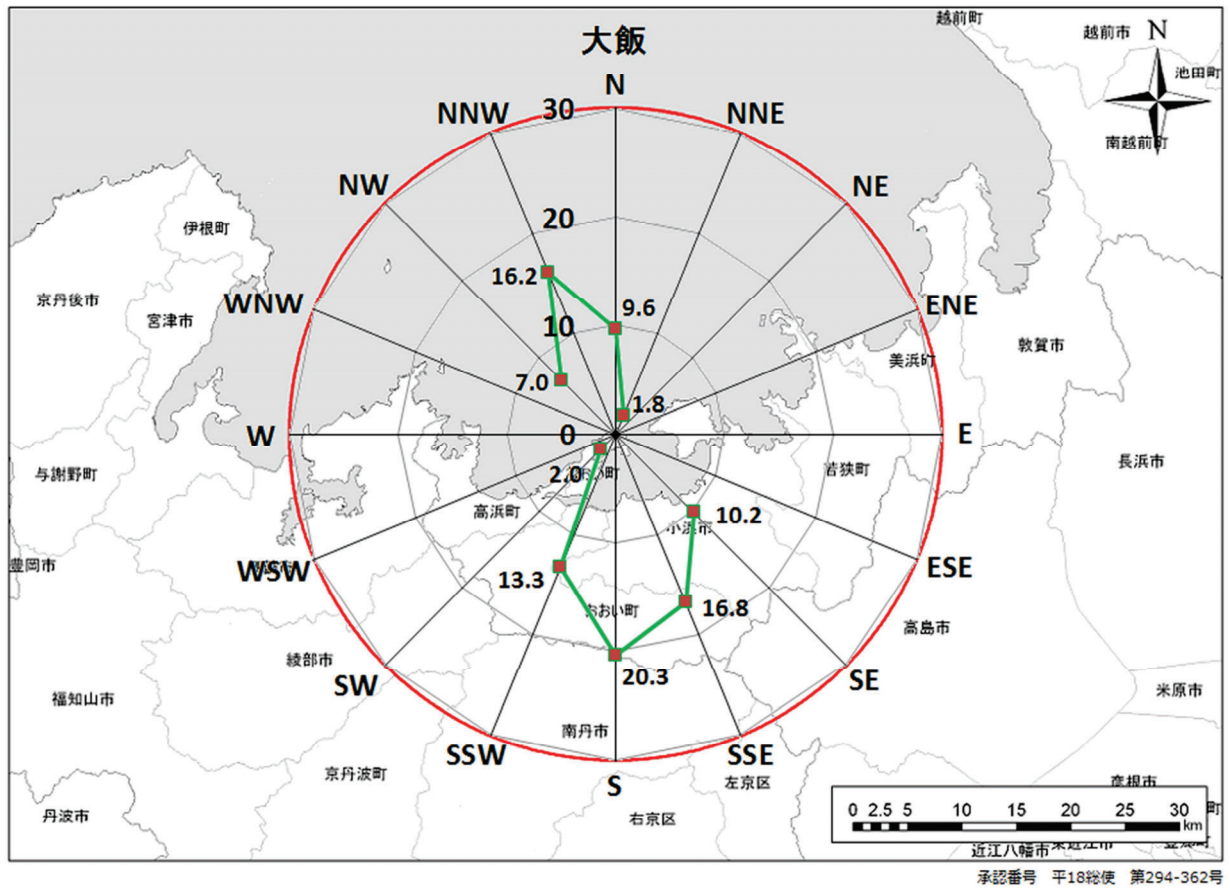
京都府地域防災計画

原子力災害対策編

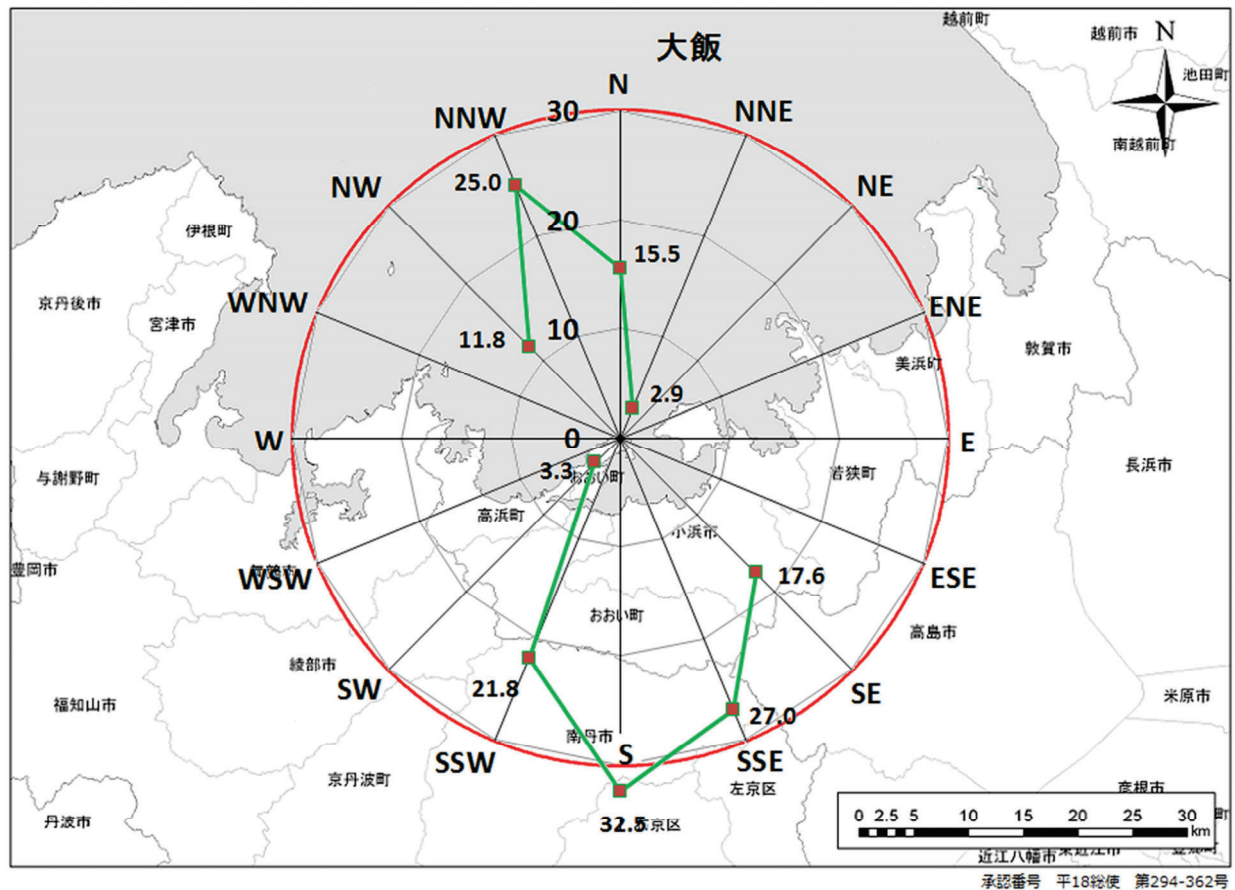
(資料編)

令和7年 5月

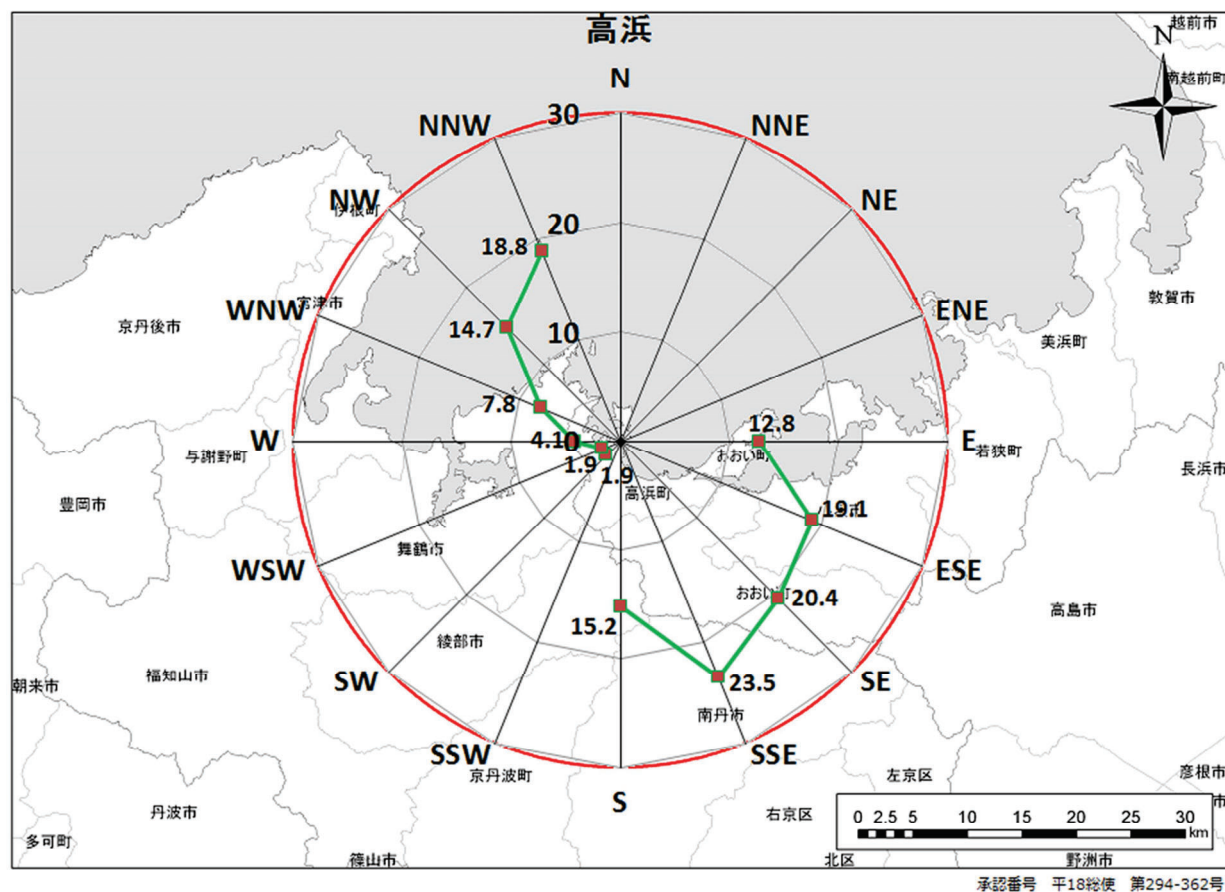
京都府防災会議



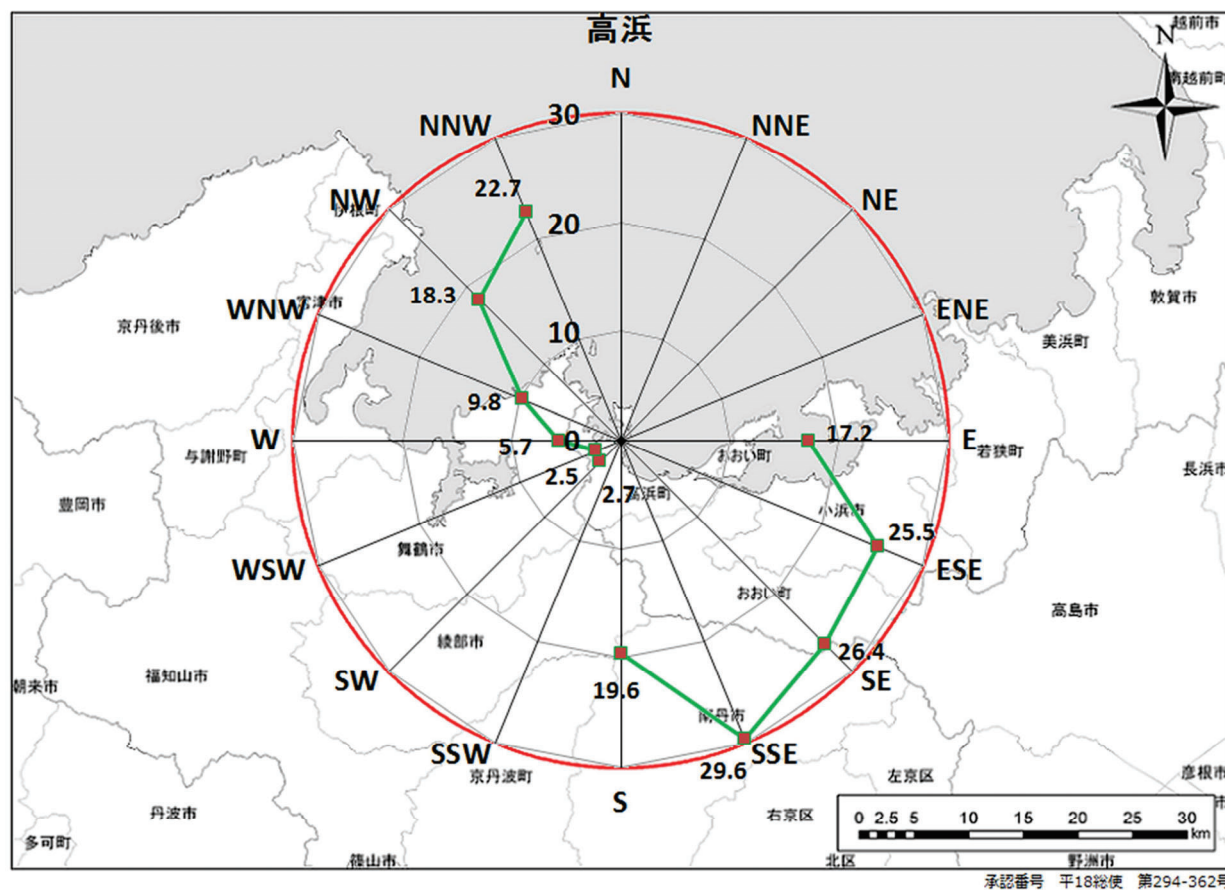
福島第一原子力発電所（1～3号機）の放射性物質質量と同じと仮定した計算



サイト出力に対応した放射性物質質量を仮定した計算



福島第一原子力発電所（1～3号機）の放射性物質量と同じと仮定した計算



サイト出力に対応した放射性物質量を仮定した計算

資料	2-5-2-①	緊急技術助言組織構成員	} 削除
資料	2-5-2-②	現地派遣専門家	
資料	2-5-2-③	緊急モニタリング要員及び機材	
資料	2-5-2-④	原子力災害医療	
資料	2-5-2-⑤	京都府原子力防災専門委員	

京都府原子力防災専門委員名簿

(五十音順・敬称略)

氏 名	役職・所属	専 攻	任 期
いがらし やすひと 五十嵐 康人	京都大学複合原子力科学 研究所 特任教授	環境放射能 放射化学	令和4年6月1日 (就任)～ 令和8年3月31日 (現任期)
きむら あきひこ 木村 晃彦	京都大学 名誉教授 エネルギー理工学研究所 研究員	原子力材料 鉄鋼材料 照射効果	平成30年4月1日 (就任)～ 令和8年3月31日 (現任期)
にしやま みねひろ 西山 峰広	(一財)日本建築総合試 験所 副理事長 ～R7.3.31 京都大学教授	鉄筋コンクリート構造学 コンクリート材料学 建築耐震構造	平成30年4月1日 (就任)～ 令和9年3月31日 (現任期)
ふじかわ ようこ 藤川 陽子	京都大学複合原子力科学 研究所 教授	放射線管理工学 放射線環境工学	平成28年9月16 日(就任)～ 令和8年3月31日 (現任期)
みさわ つよし 三澤 毅	京都大学複合原子力科学 研究所 教授	原子炉物理学 放射線計測	平成22年5月31 日(就任)～ 令和8年3月31日 (現任期)
みしま かいちろう 三島 嘉一郎	京都大学 名誉教授	原子炉工学	平成12年4月1日 (就任)～ 令和8年3月31日 (現任期)

(R7.4.1任期更新)

高浜発電所の概要



- 高浜発電所は、関西電力が福井県大飯郡高浜町に設置している原子力発電所である。
- 高浜発電所は、昭和49年の11月から1号機による営業運転を開始。昭和50年11月に2号機、昭和60年1月に3号機、同年6月に4号機の運転を開始している。

関西電力(株)高浜発電所について

(1) 所在地 福井県大飯郡高浜町

(2) 概要

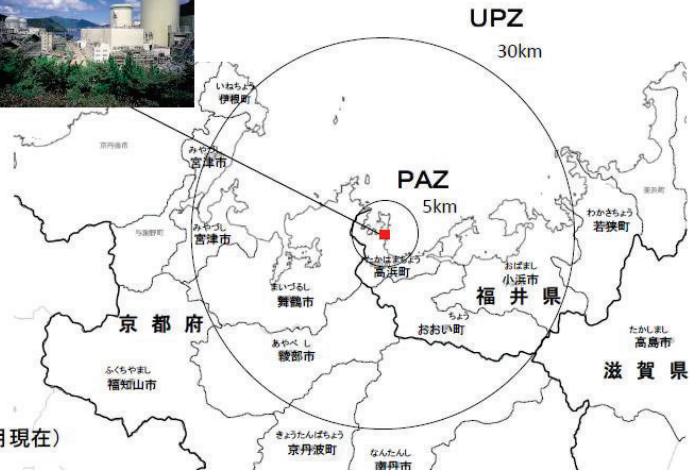
1号機：82.6万kW・PWR
 2号機：82.6万kW・PWR
 3号機：87.0万kW・PWR
 4号機：87.0万kW・PWR

(3) 着工／運転開始／経過年数（令和2年4月現在）

1号機：昭和45年 4月／昭和49年11月／45年
 2号機：昭和46年 2月／昭和50年11月／44年
 3号機：昭和55年11月／昭和60年 1月／35年
 4号機：昭和55年11月／昭和60年 6月／34年



高浜発電所



出典：国土地理院ホームページ（<http://maps.gsi.go.jp/w/35.795538/136.051941>）
 「白地図」国土地理院（<http://maps.gsi.go.jp/w/35.795538/136.051941>）をもとに
 内閣府（原子力防災）作成

5

大飯発電所の概要



- 大飯発電所は、関西電力が福井県大飯郡おおい町に設置している原子力発電所である。
- 大飯発電所は、昭和54年3月から1号機による営業運転を開始。同年12月に2号機、平成3年12月に3号機、平成5年2月に4号機の運転を開始している。なお、1号機、2号機については、平成30年3月をもって廃止となった。

関西電力(株)大飯発電所について

(1) 所在地 福井県大飯郡おおい町

(2) 概要

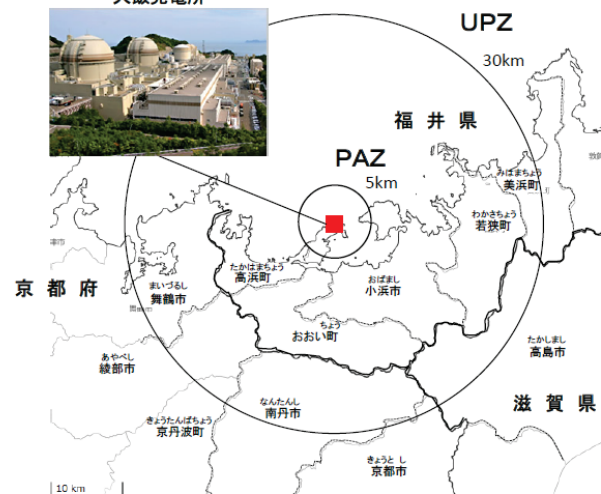
1号機：117.5万kW・PWR
 2号機：117.5万kW・PWR
 3号機：118.0万kW・PWR
 4号機：118.0万kW・PWR

(3) 着工／運転開始／経過年数（令和2年4月時点）

1号機：昭和47年10月／昭和54年 3月／39年（平成30年3月をもって廃止）
 2号機：昭和47年11月／昭和54年12月／38年（平成30年3月をもって廃止）
 3号機：昭和62年 3月／平成 3年12月／28年
 4号機：昭和62年 3月／平成 5年 2月／27年



大飯発電所



出典：国土地理院ホームページ（<http://maps.gsi.go.jp/w/35.795538/136.051941>）
 「白地図」国土地理院（<http://maps.gsi.go.jp/w/35.795538/136.051941>）をもとに内閣府（原子力防災）作成

5

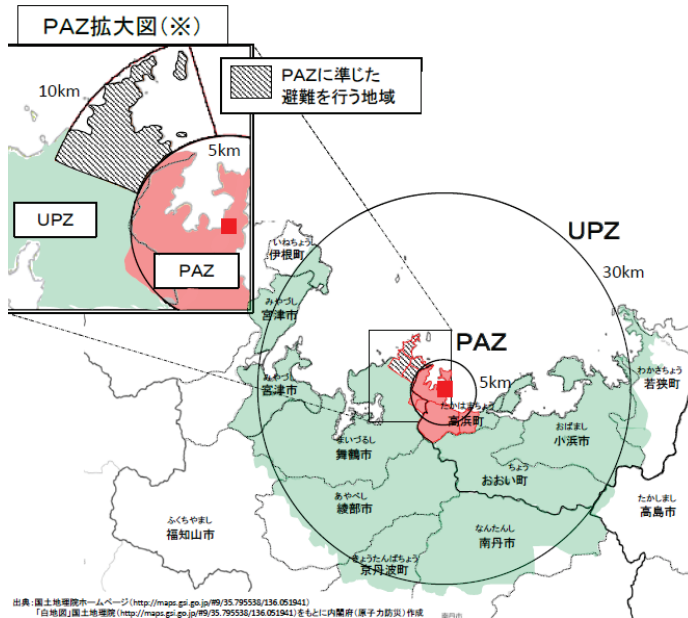
原子力災害対策重点区域の概要



内閣府

Cabinet Office, Government of Japan

- 福井県地域防災計画、京都府地域防災計画及び滋賀県地域防災計画等では、原子力災害対策指針に示されている「原子力災害対策重点区域」として、発電所より概ね5kmを目安とするPAZ内(滋賀県は該当しない)、発電所より概ね5～30kmを目安とするUPZ内の対象地区名を明らかにしている。
- 高浜地域における原子力災害対策重点区域は、PAZ内は福井県高浜町、京都府舞鶴市、UPZ内は福井県、京都府、滋賀県の7市5町にまたがる。
- 舞鶴市のUPZ内の大浦半島の一部の住民491人については、避難経路がPAZ境界周辺を通ることから、PAZに準じた避難を行うこととしている。(「PAZ拡大図(※)」参照)



<概ね5km圏内>

PAZ(予防的防護措置を準備する区域):
Precautionary Action Zone

⇒ 急速に進展する事故を想定し、放射性物質が放出される前の段階から予防的に避難等を実施する区域

1市1町(福井県:高浜町、京都府:舞鶴市)
住民数:高浜町7,651人、舞鶴市546人(大浦半島の一部の住民を含む)

<概ね5～30km圏内>

UPZ(緊急防護措置を準備する区域):
Urgent Protective Action Planning Zone

⇒ 事故が拡大する可能性を踏まえ、屋内退避や一時移転等を準備する区域

7市5町(福井県:高浜町、おおい町、小浜市、若狭町、
(京都府:舞鶴市、綾部市、南丹市、京丹波町、
福知山市、宮津市、伊根町)
(滋賀県:高島市)
住民数:159,554人 人口:平成31年4月1日時点

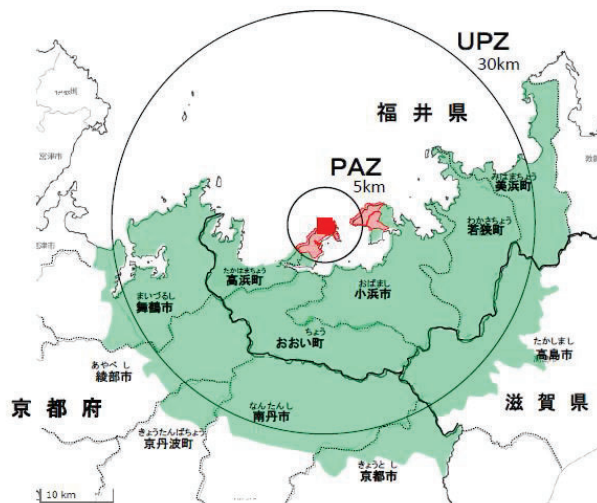
原子力災害対策重点区域の概要



内閣府

Cabinet Office, Government of Japan

- 福井県地域防災計画、京都府地域防災計画及び滋賀県地域防災計画等では、原子力災害対策指針に示されている「原子力災害対策重点区域」として、発電所より概ね5kmを目安とするPAZ内、発電所より概ね5～30kmを目安とするUPZ内の対象地区名を明らかにしている。
- 大飯地域における原子力災害対策重点区域は、PAZ内は福井県おおい町、小浜市、UPZ内は福井県、京都府、滋賀県の6市5町にまたがる。



<概ね5km圏内>

PAZ(予防的防護措置を準備する区域):
Precautionary Action Zone

⇒ 急速に進展する事故を想定し、放射性物質が放出される前の段階から予防的に避難等を実施する区域

1市1町(福井県おおい町、小浜市)
住民数: 984人

<概ね5～30km圏内>

UPZ(緊急防護措置を準備する区域):
Urgent Protective Action Planning Zone

⇒ 事故が拡大する可能性を踏まえ、屋内退避や一時移転等を準備する区域

6市5町(福井県おおい町、小浜市、高浜町、若狭町、
美浜町)、
(京都府舞鶴市、綾部市、南丹市、京丹波町、
京都市)
(滋賀県高島市)
住民数: 154,252人 人口:平成31年4月1日時点

原子力災害対策重点区域周辺の人口分布

- PAZ内人口は8,197人(PAZに準じた避難を行う地域を含む)、UPZ内人口は159,554人、原子力災害対策重点区域内の人口は合計で167,751人。
- 滋賀県においては、高島市の一部がUPZに含まれているが、山間部のため、対象エリアに居住する住民はいない。

関係市町名		PAZ (概ね5km圏内) (PAZに準じた避難を行う地域を含む)		UPZ (概ね5～30km圏内)		合 計	
福井県	高浜町	7,651 人	3,162 世帯	2,778 人	1,156 世帯	10,429 人	4,318 世帯
	おおい町			8,233 人	3,216 世帯	8,233 人	3,216 世帯
	小浜市			29,262 人	11,997 世帯	29,262 人	11,997 世帯
	若狭町			3,673 人	1,191 世帯	3,673 人	1,191 世帯
小計		7,651 人	3,162 世帯	43,946 人	17,560 世帯	51,597 人	20,722 世帯
京都府	舞鶴市	546 人	235 世帯	81,331 人	39,591 世帯	81,877 人	39,826 世帯
	綾部市			8,086 人	4,104 世帯	8,086 人	4,104 世帯
	南丹市			3,543 人	1,696 世帯	3,543 人	1,696 世帯
	京丹波町			2,904 人	1,297 世帯	2,904 人	1,297 世帯
	福知山市			449 人	196 世帯	449 人	196 世帯
	宮津市			17,897 人	8,512 世帯	17,897 人	8,512 世帯
	伊根町			1,398 人	604 世帯	1,398 人	604 世帯
小計		546 人	235 世帯	115,608 人	56,000 世帯	116,154 人	56,235 世帯
滋賀県	高島市(※)			0 人	0 世帯	0 人	0 世帯
合 計		8,197 人	3,397 世帯	159,554 人	73,560 世帯	167,751 人	76,957 世帯

※ 高島市の一部地域は原子力災害対策重点区域となっているが、対象地域に住民は居住していない。

平成31年4月1日時点

7

昼間流入出入口（就労者等）の状況

- 平成27年国勢調査によれば、高浜町及び舞鶴市全体での他市町村からの昼間流入人口は、約6,600人／日。
- また、平成28年経済センサスによると、500事業所、8,405人がPAZ内にて就労。
- 就労者の多くは、自家用車又は民間企業が所有するバスを通勤手段としている。

＜昼間流入・流出入口＞

	他地域からの流入人口(人)	他地域への流出人口(人)	差引増△減(人)
高浜町	2, 269	2, 162	107
舞鶴市	4, 286	5, 509	△1, 223
合計	6, 555	7, 671	△1, 116

出典：平成27年国勢調査従業地・通学地集計 従業地・通学地による人口・就業状態等集計（総務省統計局）

＜PAZ内の就労者数＞

市町名	PAZ内対象地区	事業所数	従業員数(人)	市町名	PAZ内対象地区※4	事業所数	従業員数(人)※5
高浜町 ※1※2	青 郷	112	1, 108	舞鶴市※3	松 尾	2	12
	内 浦	66	5, 259		田 井	5	51
	高 浜	285	1, 869		成 生	1	23
	合 計	463	8, 236		野 原	29	83
					合 計	37	169

出典：平成28年経済センサス－活動調査 町丁・大字別集計（総務省統計局）

※1 高浜町に所在する事業所のうちPAZ内の事業所分のみ計上

※2 高浜町における463事業所のうち、39事業所(5,123人)が関西電力関連企業

※3 舞鶴市の杉山地区・大山地区には事業所なし

※4 PAZに準じた避難を行う地域を含む

※5 舞鶴市における事業所は、民宿や地元の水産会社が大部分のため、従業員はほとんど地元住民

8

原子力災害対策重点区域周辺の人口分布

- PAZ内人口は984人、UPZ内人口は154,252人、原子力災害対策重点区域内の人口は合計で155,236人。

関係市町名		PAZ		UPZ		合 計	
		(概ね5km圏内)		(概ね5～30km圏内)			
福井県	おおい町 ^{ちやう}	726 人	285 世帯	7,507 人	2,931 世帯	8,233 人	3,216 世帯
	小浜市 ^{お ば ま し}	258 人	87 世帯	29,004 人	11,910 世帯	29,262 人	11,997 世帯
	高浜町 ^{たか はま ちやう}			10,429 人	4,318 世帯	10,429 人	4,318 世帯
	若狭町 ^{わか ちやう}			14,728 人	4,928 世帯	14,728 人	4,928 世帯
	美浜町 ^{み はま ちやう}			9,459 人	3,672 世帯	9,459 人	3,672 世帯
小計		984人	372世帯	71,127 人	27,759 世帯	72,111 人	28,131 世帯
京都府	舞鶴市 ^{まい づる し}			77,374 人	37,609 世帯	77,374 人	37,609 世帯
	綾部市 ^{あや べ し}			1,490 人	829 世帯	1,490 人	829 世帯
	南丹市 ^{なん だん し}			3,214 人	1,495 世帯	3,214 人	1,495 世帯
	京丹波町 ^{きやう たん ぱ ちやう}			258 人	120 世帯	258 人	120 世帯
	京都市 ^{きやう と し}			292 人	144 世帯	292 人	144 世帯
小計		—	—	82,628 人	40,197 世帯	82,628 人	40,197 世帯
滋賀県	高島市 ^{たか し ま し}			497 人	278 世帯	497 人	278 世帯
小計		—	—	497 人	278 世帯	497 人	278 世帯
合 計		984人	372世帯	154,252 人	68,234 世帯	155,236 人	68,606 世帯

人口：平成31年4月1日時点

7

昼間流入出入口（就労者等）の状況

- 平成27年国勢調査によれば、おおい町及び小浜市全体での他市町村からの昼間流入人口は、6,326人／日。
- また、平成28年経済センサスによると、関西電力関連企業を中心に125事業所、1,846人がPAZ内にて就労。
- 就労者の多くは、自家用車又は民間企業が所有するバスを通勤手段としている。

＜昼間流入・流出入口＞

	他地域からの流入人口(人)	他地域への流出人口(人)	差引増△減(人)
おおい町	2,387	1,734	653
小浜市	3,939	3,432	507
合 計	6,326	5,166	1,160

出典：平成27年国勢調査従業地・通学地集計 従業地・通学地による人口・就業状態等集計（総務省統計局）

＜PAZ内の就労者数＞

市町名	PAZ内対象地区	事業所数	従業員数(人)
おおい町※1	大島地区	118	1,828
小浜市※2	内外海地区	2	6
	堅海地区	5	12
	泊区	5	12
小 計		7	18
合 計		125	1,846

出典：平成28年経済センサス－活動調査 町丁・大字別集計（総務省統計局）

※1 おおい町(大島地区)における118事業所のうち、42事業所(1,497人)が関西電力関連企業

※2 小浜市(堅海地区、泊区)における事業所は、民宿や地元の水産会社が大部分のため、従業員はほとんど地元住民

8

7

PAZ内の観光客及び民間企業の従業員の数



- PAZ内の観光施設における日間入場見込み人数は約810人程度、民間企業（従業員30人以上）は9社（約513人）存在。※

※高浜発電所関連企業を除く

＜PAZ内の観光施設の状況＞

地区名	施設	入場見込人数(人)
福井県 たか はま 高浜町	たか はま 高浜地区	城山公園
	うち うら 内浦地区	五色山公園
	せい きょう 青郷地区	青葉山ハーバルビレッジ
	計 510人	
京都府 まい づる し 舞鶴市	まつ お 松尾地区	まつのお での 松尾寺
	計 300人	

※1 福井県については入場ピーク時(8月)の入場者数を基に算定

※2 京都府については平成30年の年間実績を基に算定

※3 入場者の9割以上が自家用車を利用

[合計] 810人 ※3

＜PAZ内の民間企業（従業員30名以上）の状況＞

地区	民間企業	従業員数(人)
たか はま 高浜地区	飲食料品小売業(3社)	111
	家具・装備品製造業(1社)	78
	医療業(1社)	137
	社会保険・社会福祉・介護事業(1社)	62
合計		388

地区	民間企業	従業員数(人)
青郷地区	総合工事業(1社)	50
	家具・装備品製造業(2社)	75
合計		125

[合計] 9社 約513人

※ 民間企業の従業員については、通勤に使用する自家用車、バスで避難

※ 高浜町内浦地区及び舞鶴市には、発電所関連企業を除き、従業員30人以上の規模の事業所なし

※ 出典:平成28年経済センサス

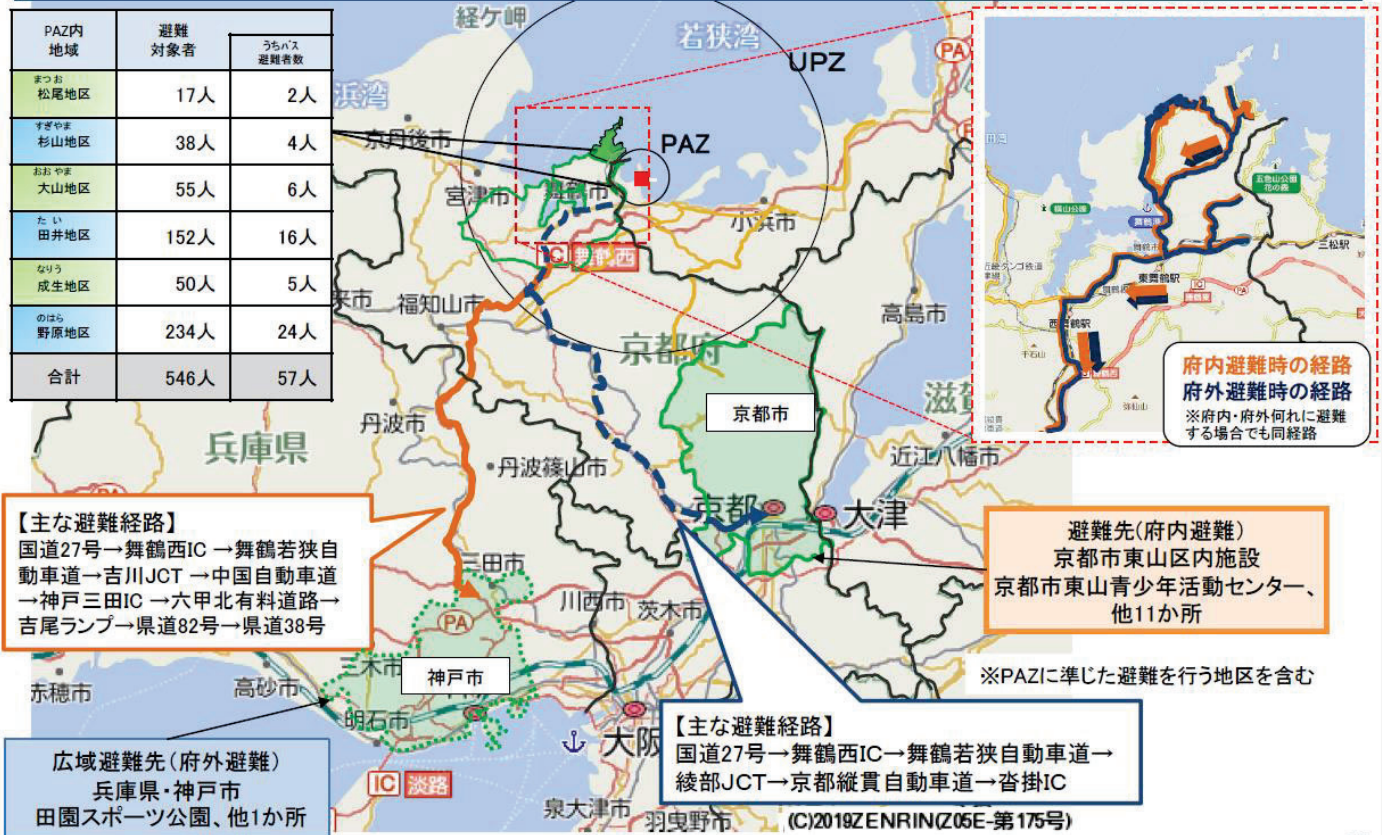
舞鶴市PAZ内 6 地区※から避難先施設までの主な経路



Cabinet Office, Government of Japan

- 地域毎にあらかじめ避難経路を設定。自然災害等により避難経路が使用できない場合は、他のルートを活用し避難を実施。
- 自家用車で避難できない住民は、徒歩等で一時集合場所に集まり、京都府等が配車した車両で避難先まで避難を実施。

PAZ内 地域	避難 対象者	うちバス 避難者数
まつお 松尾地区	17人	2人
すざやま 杉山地区	38人	4人
おおやま 大山地区	55人	6人
たい 田井地区	152人	16人
なりう 成生地区	50人	5人
のほら 野原地区	234人	24人
合計	546人	57人



舞鶴市におけるUPZから避難先施設までの主な経路

- 地域毎にあらかじめ避難経路を設定。自然災害等により避難経路が使用できない場合は、他のルートを活用し避難を実施。



綾部市におけるUPZから避難先施設までの主な経路

- 地域毎にあらかじめ避難経路を設定。自然災害等により避難経路が使用できない場合は、他のルートを活用し避難を実施。



南丹市におけるUPZから避難先施設までの主な経路

内閣府
Cabinet Office, Government of Japan

- 地域毎にあらかじめ避難経路を設定。自然災害等により避難経路が使用できない場合は、他のルートを活用し避難を実施。



88

京丹波町におけるUPZから避難先施設までの主な経路

内閣府
Cabinet Office, Government of Japan

- 地域毎にあらかじめ避難経路を設定。自然災害等により避難経路が使用できない場合は、他のルートを活用し避難を実施。



89 11